

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	4	単位
対象コース	一貫	コース	対象クラス	2	年	1組
使用教科書	NEW TREASURE STAGE 4, LANDMARKⅡ					
使用副教材	Listening & Speaking Training Seminar2, 鉄緑会東大英単語熟語鉄壁					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、以下の5つの領域において言語活動及びこれらを結び付けた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

日常的・社会的な話題について、複数の領域にまたがった活動や実際のコミュニケーションを通じて、情報や考えを理由や根拠と共にくみ取ったり、自分の意見を発信したりする。この際、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための時間が多くとられたりする。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

読解できない文がある場合は友人に教えてもらったり、教員の補足を聞き、メモをする。

(2) 家庭

予習をかかさない。音読を毎日行う。単語を覚える。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

- ・各定期考査の点数
- ・月曜日の単語テスト
- ・宿題の提出状況
- ・シャドウイングの完成度

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

- A 文章を読んで、適切に内容をくみ取ることができた。
- B 文章を読んで、大まかではあるが内容をくみ取ることができた。
- C 文章を読んで、内容をくみ取ることがあまりできなかった。

(2) 思考・判断・表現

- A 内容に対する自分の考えを適切に表現することができた。
- B 内容に対する自分の考えをおおむね表現することができた。
- C 内容に対する自分の考えをあまり表現できなかった。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- A 音読練習や提出物へ積極的に取り組むことができた。
- B 音読練習や提出物に対し、受動的にはあるが取り組むことができた。
- C 音読練習や提出物への取り組みがあまり見られなかった。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか						評価の観点		
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主		
1	4	Lesson 6 Pick Up Golden Nuggets of Opportunities	・動名詞を理解し、活用する。	○	○	○		
	5							
		第1回考査		○	○			
	6	Lesson 7 Executed, But Not Proved Guilty?	・分詞を理解し、活用する	○	○	○		
2		Lesson 8 False Faces—Reversing Assumptions	・関係代名詞、関係形容詞を理解し、活用する。	○	○	○		
	7	第2回考査		○	○			
	8	Lesson 9 Pitfalls in Speech	・複合関係詞を理解し、活用する。	○	○	○		
	9	Lesson10 The History of Maps	・比較表現を理解し、活用する。	○	○	○		
2	10	第3回考査						
		Lesson 11 Probability Challenging Your Sense of Intuition	・仮定法を理解し、活用する。	○	○	○		
	11	Lesson 1 A Swedish Girl' s		○	○	○		
	12	第4回考査		○	○			
3	1	Lesson 2 A Message from Emperor penguins		○	○	○		

[illegible]

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅠ	単位	4 単位
対象コース	進学	コース	対象クラス	2 年	2, 3 組
使用教科書	LANDMARK English CommunicationⅠ、同Ⅱ				
使用副教材	5-Stage英文法Book 1、ユメタン①他				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

聞く：身の回りの話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話し手の意図やその概要、要点を把握することができるようにする。

読む：身の回りの話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、多くの支援を活用すれば、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を目的に応じて把握することができるようにする。

話す（やりとり）：日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。

話す（発表）：社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。

書く：日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができるようにする。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

本文の内容を理解し、本文を文例として、英語で表現できることを目指して、練習していく。ある程度まとまった英文を読み、その内容を理解し、覚えていくことで要旨をまとめたり、言い換えたりすることを通して英語で表現をすることに挑戦する。また後半では英語コミュニケーションⅡの教科書のレッスン1つをまとめて題材として、問題演習を行ったり、要約や口頭でのリテリングを行っていきます。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

英文に使われているそれぞれのパーツ（品詞や構文など）を理解し、それを使って自分の表現力を磨いていきます。理解したものは使って覚えるという学習に専心してください。

(2) 家庭

そのレッスンの最初にはまず、自分で訳してみる。理解し、学校で練習した音読活動を各自宅でも継続する。最終的にはそのレッスンを和訳を正確に英文に再現できるようにする。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

知識技能について：定期考査（定期考査50点分）、月曜日実施の英単語テスト、単元ごとの小テスト

思考力・表現力・判断力について：定期考査（定期考査50点分）、年8回行われるパフォーマンステスト

学びに向かう姿勢：日々の課題提出、小テストへの取り組み具合、授業中の学びに向かう姿勢

にて評価を行う。

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

定期考査ではそこまで行った学習内容の復習を中心として出題する。英単語テストは毎回範囲を決めて、毎月曜日し、年間の平均点で評価をする。単元毎の小テストも評価として利用する。

(2) 思考・判断・表現

定期考査と年8回実施のパフォーマンステストによって評価される。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

毎日出される課題と、英単語テストの合格率、予習復習を含めた授業に臨む姿勢などを総合的に評価する。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか

評価の観点

CHECK

学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	Landmark English communication I					
		Lesson 6 Communication without Words	文法事項：関係副詞 分詞構文 内容：非言語コミュニケーションが国ごとに違うこと。そして国ごとに違う意味を理解することを学ぶ。 各国の非言語コミュニケーションをほかのものも調べて発表する (PT1)	○		○	
	5						
		第1回考査					
6	6	Lesson 7 Dear World: Bana's War	文法事項：関係詞（非制限用法） 分詞構文 内容：シリアの内戦にSNSで立ち向かう少女の話を通して、平和について考え、平和な世界にするために自分たちが何ができるかを考える。 どのように学ぶか： 1 BANAの活動を英語で簡潔にまとめて書いたり、話したりする。 2 自分なら世界にどのようなことができるのか、話し合う。(PT2)		○	○	
	7	第2回考査					
		Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere	文法事項：知覚動詞+0+原形不定詞／分詞 仮定法過去 内容：税所さん、三輪さんが立ち上げたe-Educationが教育の格差をなくしていく様子を通して自分たちにもできる世界貢献について考える。		○	○	

8 9	Lesson 9 Space Elevator	どのように学ぶか： 1 e-Educationの活動を英語で簡潔にまとめて、他の生徒に発表する。 2 自分が得意なものを他の人に教える姿を動画にしてクラスで発表する (PT3) 文法事項：仮定法過去 比較級表現 どのように学ぶか： 1 スペースエレベーターがどのようなものかを知り、それを英語で説明する。 2 スペースエレベーターが現在抱えている問題点を調べて、発表する (PT4)	○	○		
	第3回考査					
10	Lesson 10 Friendship over time	文法事項：分詞構文 仮定法過去完了 どのように学ぶか： 1 トルコ共和国がなぜ日本に対して好意を持つようになったのかを理解し、英語で説明する。 2 エルトゥールル号のような例を調べてクラスで発表する。(PT5)	○	○		
	Landmark English Communication II Lesson 1 A Swedish Girl's Discoveries in Japan	どのように学ぶか： 1 外国人から見た日本文化という日本人にとってはなじみのある文章をT/F Questionを通して、概要を把握する。 2 紹介したい日本のものや文化、風習などを一つクラスで発表する (PT6)	○	○		
11	Lesson 2 A Message from Emperor Penguins	どのように学ぶか： 1 コウテイペンギンの生態を学び、環境破壊が彼らの生存を脅かしていることを知る。 2 文章を400語程度にまとめて、発表する。 3 環境破壊により絶滅の危機にある生物を調べ、英語でプレゼンする。(PT7)	○	○		
	第4回考査					

	12	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle	どのように学ぶか： 1 ある意味、究極のおもてなしと思われる東京駅の7分間の軌跡を聞いてT/F Questionに答えることで内容を理解する。 2 東京駅の7分間の軌跡を逆の面から捉え問題点を考える。	○	○
		Lesson 4 Seed for the Future	どのように学ぶか： 1 高校生小林宙くんの取り組みを通して、「別な意味での」環境破壊について和訳を中心とした総合問題に取り組むことで、内理解を深める。 2 宙くんとインタビュアーになって、インタビューの原稿を作り発表する。(PT8)	○	○
		Lesson 5 Language Change over Time	どのように学ぶか： 1 アカリさんを中心としたグループの発表を聞いて、内容を日本語でまとめる。 2 源氏物語の1節を英訳してALTIに発表する。(PT9)	○	○
		Lesson 6 Gaudi and His Messenger	どのように学ぶか： 1 ガウディに魅せられ、サクラダファミリアで彫刻の仕事をした外尾悦郎さんの話をT/F Questionsを通して概要を理解する。 2 インタビュアーとガウディ、外尾さんの役になってインタビューをする	○	○
		第5回考査			
	3	Lesson 7 Letters from a Battlefield	どのように学ぶか： 1 映画にもなった「硫黄島からの手紙」の舞台で起こった太平洋戦争を長文読解の形で読み込むことで、当時のことを知り、また平和の大切さを考える。 2 当時の状況を思いながら、家族に宛てられた手紙を朗読する	○	○

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ	単位	4 単位
対象コース	総合(情報)	コース	対象クラス	2 年	4～7 組
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication Ⅱ (啓林館)				
使用副教材	LANDMARK Fit English Communication I サブノート、ワークブック (啓林館) 新ユメタンO (アルク)				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況に応じて適切に活用したり、様々な話題に

ついて英語で情報や考えなどの要点などを理解・伝え合ったりしたり、背景にある文化について理解を深め、情報を受け取る側に配慮しながら主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

日常的・社会的な話題について、上記に示した五つの領域別、または複数の領域にまたがった活動や実際のコミュニケーションを通じて、情報や考えを理由や根拠と共にくみ取ったり、自分の意見を発信したりする。この際、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための時間が多くとられたりする。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

各パートや単語帳を、文章や単語の日本語訳を見ながら音読できるように様々な方法で繰り返し読む。

また、各文の構成が解説されたプリントを読み、分からない場合や複雑な場合は教員の補足を聞き、メモをす

(2) 家庭

・サブノートを使用し、予習を行う。また、解説プリントを読み、自分の言葉でもう一度まとめ直す。

・教科書や単語帳に記載されているQRコードを読み取り、ネイティブによる音声を聞きながら音読をする。文章の場合は、発音やスピードにも気をつける。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

- ・各定期考査の点数
- ・月曜日の単語テスト
- ・サブノートをはじめとした提出物の提出状況
- ・各パートごとに行われる小テスト
- ・音読へ取り組む姿勢

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

- A 文章を読んで、適切に内容をくみ取ることができた。
- B 文章を読んで、大まかではあるが内容をくみ取ることができた。
- C 文章を読んで、内容をくみ取ることがあまりできなかった。

(2) 思考・判断・表現

- A 内容に対する自分の考えを適切に表現することができた。
- B 内容に対する自分の考えをおおむね表現することができた。
- C 内容に対する自分の考えをあまり表現できなかった。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- A 音読練習や提出物へ積極的に取り組むことができた。
- B 音読練習や提出物に対し、受動的にはあるが取り組むことができた。
- C 音読練習や提出物への取り組みがあまり見られなかった。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	Lesson 5 Bailey the Facility Dog	・ファシリティドッグについての文章を読み、病院におけるその活用についての自分の意見を発表する。 ・原形不定詞やifを用いた間接疑問文を理解し、活用する。	○	○	○	
	5			○	○	○	
		第1回考査		○	○		
	6	Lesson 6 Communication without Words	・言語を介さないコミュニケーション手法についての文章を読み、自分のしぐさが相手に不快な思いをさせていないかについて考え、よりよいコミュニケーションについて考え、発表する。 ・形式目的語や間接疑問文を理解し、活用する。	○	○	○	
		Lesson 7 Dear World: Bana's War		○	○	○	
	7	第2回考査		○	○		
	8	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere	・社会起業家についての文章を読み、自分の将来就きたい仕事に就いて発表する。 ・過去完了と仮定法過去について理解し、活用する。	○	○	○	
2	9			○	○	○	
		Optional Lesson 1 Space Elevator	・宇宙と地上を繋ぐエレベーターについての文章を読み、環境問題についての自分の意見を発表する。	○	○	○	
	10	第3回考査		○	○		
		Optional Lesson 2 Friendship over Time	・日本とトルコの時代を超えた友好関係についての文章を読み、友好関係の重要性について発表する。	○	○	○	
2	11	Lesson 1 A Swedish Girl's	・スウェーデン出身の少女が日本で漫画家を目指したきっかけに関する文章を読み、日本文化に対する理解を深める。 ・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法、動名詞を理解し、活用する。	○	○	○	

[illegible]

教科	英語	科目	英語コミュニケーションⅡ			単位	4	単位
対象コース	美術	コース	対象クラス	2 年	8・9 組			
使用教科書	LANDMARK Fit English Communication Ⅱ（啓林館）							
使用副教材	LANDMARK Fit English Communication Iサブノート、ワークブック（啓林館）新ユメタンO（アルク）							

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

聞くこと、読むこと、話すこと〔やり取り〕、話すこと〔発表〕、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況に応じて適切に活用したり、様々な話題に

ついて英語で情報や考えなどの要点などを理解・伝え合ったりしたり、背景にある文化について理解を深め、情報を受け取る側に配慮しながら主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

日常的・社会的な話題について、上記に示した五つの領域別、または複数の領域にまたがった活動や実際のコミュニケーションを通じて、情報や考えを理由や根拠と共にくみ取ったり、自分の意見を発信したりする。この際、使用する語句や文、発話例が十分に示されたり、準備のための時間が多くとられたりする。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

各パートや単語帳を、文章や単語の日本語訳を見ながら音読できるように様々な方法で繰り返し読む。また、各文の構成が解説されたプリントを読み、分からない場合や複雑な場合は教員の補足を聞き、メモをする。

(2) 家庭

- ・サブノートを使用し、予習を行う。また、解説プリントを読み、自分の言葉でもう一度まとめ直す。
- ・教科書や単語帳に記載されているQRコードを読み取り、ネイティブによる音声を聞きながら音読をする。文章の場合は、発音やスピードにも気をつける。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

- ・各定期考査の点数
- ・月曜日の単語テスト
- ・サブノートをはじめとした提出物の提出状況
- ・各パートごとに行われる小テスト
- ・音読へ取り組む姿勢

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

- A 文章を読んで、適切に内容をくみ取ることができた。
- B 文章を読んで、大まかではあるが内容をくみ取ることができた。
- C 文章を読んで、内容をくみ取ることがあまりできなかった。

(2) 思考・判断・表現

- A 内容に対する自分の考えを適切に表現することができた。
- B 内容に対する自分の考えをおおむね表現することができた。
- C 内容に対する自分の考えをあまり表現できなかった。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- A 音読練習や提出物へ積極的に取り組むことができた。
- B 音読練習や提出物に対し、受動的にはあるが取り組むことができた。
- C 音読練習や提出物への取り組みがあまり見られなかった。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	Lesson 5 Bailey the Facility Dog	・ ファシリティドッグについての文章を読み、病院におけるその活用についての自分の意見を発表する。 ・ 原形不定詞やifを用いた間接疑問文を理解し、活用する。	○	○	○	
	5			○	○	○	
		第1回考査		○	○		
	6	Lesson 6 Communication without Words	・ 言語を介さないコミュニケーション手法についての文章を読み、自分のしぐさが相手に不快な思いをさせていないかについて考え、よりよいコミュニケーションについて考え、発表する。 ・ 形式目的語や間接疑問文を理解し、活用する。	○	○	○	
				○	○	○	
		Lesson 7 Dear World: Bana's War		○	○	○	
	7	第2回考査		○	○		
2	8	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere	・ 社会起業家についての文章を読み、自分の将来就きたい仕事に就いて発表する。 ・ 過去完了と仮定法過去について理解し、活用する。	○	○	○	
	9			○	○	○	
		Optional Lesson 1 Space Elevator	・ 宇宙と地上を繋ぐエレベーターについての文章を読み、環境問題についての自分の意見を発表する。	○	○	○	
	10	第3回考査		○	○		
		Optional Lesson 2 Friendship over Time	・ 日本とトルコの時代を超えた友好関係についての文章を読み、友好関係の重要性について発表する。	○	○	○	
2	11	Lesson 1 A Swedish Girl's	・ スウェーデン出身の少女が日本で漫画家を目指したきっかけに関する文章を読み、日本文化に対する理解を深める。 ・ 不定詞の形容詞的用法と副詞的用法、動名詞を理解し、活用する。	○	○	○	

3	第4回考査					
	12	Lesson 2				
	1	A Message from Emperor penguins	・ 皇帝ペンギンについての文章を読み、人間との共生共存について理解を深め、環境問題についての自分の意見を発表する。 ・ 現在完了形、現在完了進行形、間接疑問文について理解し、活用する。	○	○	
	2	Lesson 3 Tokyo's Seven-minute Miracle	・ 新幹線清掃員に関する文章を読み、自分が将来就きたい仕事について発表する。 ・ 分詞の形容詞的用法、形式目的語that節について理解し、活用する。	○	○	○
		第5回考査				
	3	Lesson 4 Seeds for the Future	・ 病気に強いなどの有用な形質をもつタネの流通・販売を手掛ける高校生についての文章を読み、文化継承についての自分の意見を発表する。 ・ 完了形の受動態、複合関係代名詞について理解し、活用する。	○	○	○

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	英語演習Ⅱ		単位	3	単位
対象コース	一貫	コース	対象クラス	2 年	1 組		
使用教科書	なし						
使用副教材	オリジナル演習プリント、映像・音声教材、IT技術						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

日常的な話題，社会的な話題から大学入試に関する内容について，読むこと，聞くこと，話すこと〔やりとり・発表〕，書くことの4つの領域の能力を段階的に伸ばすとともに，これらのすべての領域においての実践力を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

読むこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようになる。

聞くこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようになる。

話すこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようになる。

書くこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようになる。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

さまざまな表現方法を身につけ，練習問題で定着させる。また，与えられた主題について論理的に話すことや，論理の展開や構成を工夫して文章を書けるようにする。

(2) 家庭

学んだことを実際に英作文で書いてみる。また，授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより，表現の幅を広げる。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

- 1 考査得点(60%)：年3回の考査得点に基づく。
- 2 観点別評価(20%)：授業での各観点別評価に基づく。
- 3 提出物(20%)：授業で提示される課題の提出状況に基づく。

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。また，その構文を用いて各Lessonのテーマについてクラスメートとインタビューややりとりなどをし，その内容の発表や伝える文章を書く技能を身につけている。

(2) 思考・判断・表現

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり，相手からの質問に答えたりしている。また，聞いた内容を整理し，クラスで発表している。自分の気持ちや考えを整理し，述べる文章を書いている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり，相手からの質問に答えたりしようとしている。また，聞いた内容を整理し，クラスで発表しようとしている。与えられた論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，相手の質問に答えたりしようとしている。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	はじめに 英語の学習方法		○			
	5	Lesson 1 第一回英検対策 1 準 1 級	・ 6 月に実施される第一回の英検対策 ・ 準 1 級レベルに対応した内容 ・ 音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
		第 1 回考査 実施無し		○	○	○	
	6	Lesson 2 第一回英検対策 2 準 1 級	・ 今月に実施される第一回の英検対策 ・ 準 1 級レベルに対応した内容 ・ 音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
		第 1 回考査 実施無し		○	○	○	
	7	Lesson 3 日常会話演習 1 (Speaking) 会話特有の表現を理解する	・ 文法や理屈にとらわれない会話特有の短くも実践的な表現を覚える。 ・ 英文解釈ではなくストレートに意味を持つ表現を使えるようにする。	○	○	○	
		第 2 回考査 実施		○	○	○	
2	8	Lesson 4 日常会話演習 2 (Listening) 会話特有の音声を聞き取る	・ 文法や理屈にとらわれない会話特有の短くも実践的な表現を聞き取る。 ・ 英文解釈ではなくストレートに意味を持つ表現を聞き分けられるようにする。	○	○	○	
		第 2 回考査 実施		○	○	○	
	9	Lesson 5 第二回英検対策 1 準 1 級	・ 10 月に実施される第二回の英検対策 ・ 準 1 級レベルに対応した内容 ・ 音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
		第 2 回考査 実施		○	○	○	
	10	Lesson 6 第二回英検対策 2 準 1 級	・ 10 月に実施される第二回の英検対策 ・ 準 1 級レベルに対応した内容 ・ 音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
		第 3 回考査 実施無し		○	○	○	
	10	Lesson 7 第二回英検対策 3 準 1 級	・ 今月に実施される第一回の英検対策 ・ 準 1 級レベルに対応した内容 ・ 音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
		第 3 回考査 実施		○	○	○	

3	11	Lesson 8 GTEC及びTOIEC対策 1	・ GTECとTOEICの過去問及び公式問題を用いてそれぞれの検査の実力アップを図る。	○	○	○
				○	○	○
		第 4 回 考 査 実 施				
	12	Lesson 9 第三回英検対策 1 準 1 級	・ 1 月に実施される第一回の英検対策 ・ 準 1 級レベルに対応した内容 ・ 音声を利用したリスニング対策	○	○	○
				○	○	○
	1	Lesson 10 第三回英検対策 2 準 1 級	・ 今月に実施される第一回の英検対策 ・ 準 1 級レベルに対応した内容 ・ 音声を利用したリスニング対策	○	○	○
				○	○	○
	2	Lesson 11 GTEC及びTOIEC対策 2	・ GTECとTOEICの過去問及び公式問題を用いてそれぞれの検査の実力アップを図る。	○	○	○
				○	○	○
		第 5 回 考 査 実 施				
	3	Lesson 12 総合Reading演習	・ GTECとTOEICの過去問及び公式問題を用いてそれぞれの検査の実力アップを図る。	○	○	○
				○	○	○

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	演習 I I	単位	3 単位
対象コース	総合	コース	対象クラス	2 年	4 組
使用教科書	なし				
使用副教材	オリジナル演習プリント、映像・音声教材、I T 技術				

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

日常的な話題，社会的な話題から大学入試に関する内容について，読むこと，聞くこと，話すこと〔やりとり・発表〕，書くことの4つの領域の能力を段階的に伸ばすとともに，これらのすべての領域においての実践力を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

読むこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようにする。

聞くこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようにする。

話すこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようにする。

書くこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようにする。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

さまざまな表現方法を身につけ，練習問題で定着させる。また，与えられた主題について論理的に話すことや，論理の展開や構成を工夫して文章を書けるようにする。

(2) 家庭

学んだことを実際に英作文で書いてみる。また，授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより，表現の幅を広げる。

3 この科目の評価方法について

評価方法：何を使って評価するのか

- 1 考査得点(60%)：年3回の考査得点に基づく。
- 2 観点別評価(20%)：授業での各観点別評価に基づく。
- 3 提出物(20%)：授業で提示される課題の提出状況に基づく。

評価における定期考査の割合

60 %

4 この科目の評価の観点について

評価の観点：この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) 知識・技能

各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。また，その構文を用いて各Lessonのテーマについてクラスメートとインタビューややりとりなどをし，その内容の発表や伝える文章を書く技能を身につけている。

(2) 思考・判断・表現

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり，相手からの質問に答えたりしている。また，聞いた内容を整理し，クラスで発表している。自分の気持ちや考えを整理し，述べる文章を書いている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり，相手からの質問に答えたりしようとしている。また，聞いた内容を整理し，クラスで発表しようとしている。与えられた論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，相手の質問に答えたりしようとしている。

5 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	はじめに 英語の学習方法		○			
	5	Lesson 1 第一回英検対策 1 2 級、準 2 級、3 級	・ 6 月に実施される第一回の英検対策 ・ 複数の級に対応した内容 ・ 映像と音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
		第 1 回考査 実施無し		○	○	○	
		Lesson 2 第一回英検対策 2 2 級、準 2 級、3 級	・ 今月に実施される第一回の英検対策 ・ 複数の級に対応した内容 ・ 映像と音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
	6	Lesson 3 日常会話演習 1 (Speaking) 会話特有の表現を理解する	・ 文法や理屈にとらわれない会話特有の短くも実践的な表現を覚える。 ・ 英文解釈ではなくストレートに意味を持つ表現を使えるように。	○	○	○	
		第 2 回考査 実施		○	○	○	
		Lesson 4 日常会話演習 2 (Listening) 会話特有の音声を聞き取る	・ 文法や理屈にとらわれない会話特有の短くも実践的な表現を聞き取る。 ・ 英文解釈ではなくストレートに意味を持つ表現を聞き分けられるように。	○	○	○	
2	8	Lesson 5 第二回英検対策 1 2 級、準 2 級、3 級	・ 10 月に実施される第一回の英検対策 ・ 複数の級に対応した内容 ・ 映像と音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
				○	○	○	
	9	Lesson 6 第二回英検対策 2 2 級、準 2 級、3 級	・ 10 月に実施される第一回の英検対策 ・ 複数の級に対応した内容 ・ 映像と音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
		第 3 回考査 実施無し		○	○	○	
	10	Lesson 7 第二回英検対策 3 2 級、準 2 級、3 級	・ 今月に実施される第一回の英検対策 ・ 複数の級に対応した内容 ・ 映像と音声を利用したリスニング対策	○	○	○	
				○	○	○	
	11	Lesson 8 GTEC 及び TOEIC 対策 1	・ GTEC と TOEIC の過去問及び公式問題を用いてそれぞれの検査の実力アップを図る。	○	○	○	
		第 4 回考査 実施		○	○	○	

3	12	Lesson 9 第三回英検対策 1 2 級、準 2 級、3 級	・ 1 月に実施される第一回の英検対策 ・ 複数の級に対応した内容 ・ 映像と音声を利用したリスニング対策	○	○	○
				○	○	○
	1	Lesson 10 第三回英検対策 2 2 級、準 2 級、3 級	・ 今月に実施される第一回の英検対策 ・ 複数の級に対応した内容 ・ 映像と音声を利用したリスニング対策	○	○	○
				○	○	○
	2	Lesson 11 GTEC及びTOIEC対策 2	・ GTECとTOEICの過去問及び公式問題を用いてそれぞれの検査の実力アップを図る。	○	○	○
				○	○	○
		第 5 回 考 査 実 施				
	3	Lesson 12 総合Reading演習	・ GTECとTOEICの過去問及び公式問題を用いてそれぞれの検査の実力アップを図る。	○	○	○
				○	○	○

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	論理・表現Ⅱ		単位	2	単位
対象コース	一貫	コース	対象クラス	2	年	1	組
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I, II Standard						
使用副教材	EARTHRISE 活用ノート						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

日常的な話題，社会的な話題について，話すこと〔やりとり〕，話すこと〔発表〕，書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばす。また，論理の構成や展開を工夫して，主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

話すこと〔やりとり〕，話すこと〔発表〕：聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。
書くこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようにする。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

さまざまな表現方法を身につけ，練習問題で定着させる。また，与えられた主題について論理的に話すことや，論理の展開や構成を工夫して文章を書けるようにする。

(2) 家庭

学んだことを実際に英作文で書いてみる。また，授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより，表現の幅を広げる。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか

(1) 知識・技能

・各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。
・各Lessonの構文を用いてそのLessonのテーマについてクラスメートと伝え合い，その内容について発表する技能を身につけている。

・各Lessonのテーマについて伝える文章を書いたりする技能を身につけている。

(2) 思考・判断・表現

・各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり，相手からの質問に答えたりしている。また，情

報や自分の考えを整理し，聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。

・読み手によく理解してもらえるように，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えてい

(3) 主体的に学習に取り組む態度

・各Lessonのテーマについてクラスメートに伝えたり，相手からの質問に答えたりしようとしている。また，その

内容について整理し，聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。

・読み手によく理解してもらえるように，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝えよう

としている。

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	Lesson 13 I'm interested in history ・ 関係副詞	・ 関係副詞when, howの意味と用法及び関係副詞の制限用法と非制限用法を理解する。 ・ 関係副詞の非制限用法を用いて、日本の歴史的建造物について紹介するパラグラフを書く。 ・ 「世界遺産に選ばれることはその場所にとってよいことだ」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○		○	
				○	○	○	
				○	○	○	
	5	Lesson 14 Various countries around the world ・ 比較表現	・ さまざまな比較表現の意味と用法を理解する。 ・ 比較表現を用いて、自分が行きたい国などについて、クラスメートとやりとりをし、その内容を発表する。 ・ 比較表現を用いて、2つの都市の気候の違いについて説明するレポートを書く。 ・ 「日本の高校生は海外修学旅行を企画すべきだ」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○		○	
				○	○	○	
				○	○	○	
		第1回考査					
		Lesson 15 What job are you interested in? ・ 仮定法過去 ・ 仮定法過去完了	・ 仮定法過去と仮定法過去完了の意味と用法を理解する。 ・ 仮定法過去を用いて、自分が興味ある職業についてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する。 ・ 仮定法過去完了を用いて、26歳の自分自身を想像して説明する文章を書く。 ・ 「より多くの日本人が将来海外で働く」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○		○	
				○	○	○	
				○	○	○	
2	6	EARTHRISE II Part 1 Lesson 1 How interesting Japanese culture is! ・ 時制	・ 適切な時制を用いて、制服着用の経験、制服のメリット・デメリットについてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な時制を用いて、日本語の俳句について説明する文章を書く。 ・ 「マンガとアニメは日本文化を理解するのに役立つ」という論題について、自分の考えを述べる。	○	○	○	
		第2回考査					
	7	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan ・ 助動詞	・ 適切な助動詞を用いて、訪日予定の外国人観光客に勧める場所についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な助動詞を用いて、自分がこれまでに行った日本の旅行先について伝える文章を書く。	○	○	○	
				○	○	○	
	8		・ 「ひとり旅のよさ」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○	
	9	Lesson 3 Precious water for all ・ 受動態の基本形 ・ 受動態のさまざまな形	・ 受動態の基本形、完了形の受動態、助動詞のある受動態などの用法と意味を理解する。 ・ 受動態を用いて、昼食のバーチャル・ウォーター量についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。	○		○	
				○	○	○	

			・ 節水のための取り組みについてのスピーチ原稿を書く。 ・ 「水は無料ですべての人に提供されるべきだ」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
		第3回考査				
10	Lesson 4 What has happened recently? ・ 不定詞 ・ 動名詞		・ 不定詞と動名詞の用法と意味を理解する。 ・ 適切な不定詞・動名詞を用いて、自分の好きなニュースやそのニュースを得る方法についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な不定詞・動名詞を用いて、自分が覚えている最近のニュースについて説明するレポートを書く。 ・ 「高校生は世界で起きていることを知るために、新聞を読むべきだ」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
	Lesson 5 I'm into music and movies! ・ 分詞の前置修飾と後置修飾 ・ 分詞構文 ・ watch + 0 + doing		・ 分詞の前置詞修飾と後置修飾の用法と意味を理解する。 ・ 分詞構文とwatch+0+doingの用法と意味を理解する。 ・ 適切な分詞を用いて、自分のお気に入りの映画についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 分詞構文を用いて、自分のお気に入りの歌手などについて紹介する文章を書く。 ・ 「映画は、映画館より家で見るほうがよい」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
	Lesson 6 Where do you usually buy clothes? ・ 関係代名詞 ・ 関係副詞 ・ 複合関係副詞		・ 関係代名詞・関係副詞の用法と意味を理解する。 ・ 関係代名詞の非制限用法・複合関係副詞の用法と意味を理解する。 ・ 適切な関係詞を用いて、自分がほしい服などについてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な関係詞を用いて、自分がよく服を買う店についての文章を書く。 ・ 「将来、より多くの人がオンラインで服を買う」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
11		第4回考査				
12	Lesson 7 What kind of books do you like best? ・ 比較表現		・ さまざまな比較表現の用法と意味を理解する。 ・ 適切な比較表現を用いて、自分が好きな本のジャンルや最も印象に残っている本についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な比較表現を用いて、紙の本と電子書籍のどちらが好きかについての自分の意見を書く。 ・ 「勉強をするためのベストな場所はどこか」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
		2学期の振り返り				
3	1 Lesson 8 Inventions that changed the way we live		・ 仮定法過去、仮定法過去完了、I wish + S' + 過去形、仮定法の慣用表現の用法と意味を理解する。	○	○	○

		・ 仮定法過去 ・ 仮定法過去完了 ・ I wish + S' + 過去形 ・ 仮定法の慣用表現	・ 適切な仮定法の表現を用いて。生活を大きく変えた発明についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な仮定法の表現を用いて。スマートフォンによる生活の変化について説明する文章を書く。 ・ 「もしスマートフォンである家庭用品を使えとしたり、その家庭用品は何か」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
2	Part 2 Lesson 1 Can you come to our party? ・ 「感謝」「謝罪」の表現		「感謝」「謝罪」の表現の用法と意味を理解する。 ・ 「感謝」の表現を用いて、お祝いの言葉に対する感謝の言葉を述べ、パーティーに誘う会話のロールプレイをする。 ・ 「謝罪」の表現を用いて、誘われた誕生日パーティーに急きょ行けなくなった旨を謝罪するメール文を書く。 ・ 「できるだけ多くの友だちを持とうとするべきだ」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
	第5回考査			○	○	○
3	1年間の振り返りと総復習	・ 問題演習		○	○	○

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	論理・表現Ⅱ	単位	2	単位
対象コース	一貫	コース	対象クラス	2 年	2~3 組	
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I, II Standard					
使用副教材	EARTHRISE 活用ノート					

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか 日常的な話題、社会的な話題について、話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕、書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばす。また、論理の構成や展開を工夫して、主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
学習内容：この科目で学習する大まかな内容 話すこと〔やりとり〕、話すこと〔発表〕：聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。 書くこと：聞き取った内容を分析して、論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようにする。
学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか (1) 学校 さまざまな表現方法を身につけ、練習問題で定着させる。また、与えられた主題について論理的に話すことや、論理の展開や構成を工夫して文章を書けるようにする。 (2) 家庭 学んだことを実際に英作文で書いてみる。また、授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより、表現の幅を広げる。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか (1) 知識・技能 ・各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。 ・各Lessonの構文を用いてそのLessonのテーマについてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する技能を身につけている。 ・各Lessonのテーマについて伝える文章を書いたりする技能を身につけている。 ・与えられた論題について、必要な背景知識・語彙・表現を用いて、自分の考えを述べる技能を身につけている。 (2) 思考・判断・表現 ・各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。また、情報や自分の考えを整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。 ・読み手によく理解してもらえるように、情報や自分の考えなどを、論理の構成や展開を工夫して書いて伝える。 ・与えられた論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしている。 (3) 主体的に学習に取り組む態度 ・各Lessonのテーマについてクラスメートに伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。また、その内容について整理し、聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。 ・読み手によく理解してもらえるように、情報や自分の考えなどを、論理の構成や展開を工夫して書いて伝えるようとしている。 ・与えられた論題について、自分の考えを理由とともに伝えたり、相手の質問に答えたりしようとしている。
--

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	Lesson 13 I'm interested in history ・ 関係副詞	・ 関係副詞when, howの意味と用法及び関係副詞の制限用法と非制限用法を理解する。 ・ 関係副詞の非制限用法を用いて、日本の歴史的建造物について紹介するパラグラフを書く。 ・ 「世界遺産に選ばれることはその場所にとってよいことだ」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○		○	
				○	○	○	
				○	○	○	
	5	Lesson 14 Various countries around the world ・ 比較表現	・ さまざまな比較表現の意味と用法を理解する。 ・ 比較表現を用いて、自分が行きたい国などについて、クラスメートとやりとりをし、その内容を発表する。 ・ 比較表現を用いて、2つの都市の気候の違いについて説明するレポートを書く。 ・ 「日本の高校生は海外修学旅行を企画すべきだ」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○		○	
				○	○	○	
				○	○	○	
		第1回考査					
1		Lesson 15 What job are you interested in? ・ 仮定法過去 ・ 仮定法過去完了	・ 仮定法過去と仮定法過去完了の意味と用法を理解する。 ・ 仮定法過去を用いて、自分が興味ある職業についてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する。 ・ 仮定法過去完了を用いて、26歳の自分を想像して説明する文章を書く。 ・ 「より多くの日本人が将来海外で働く」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○		○	
				○	○	○	
				○	○	○	
				○	○	○	
	6	EARTHRISE II Part 1 Lesson 1 How interesting Japanese culture is! ・ 時制	・ 適切な時制を用いて、制服着用の経験、制服のメリット・デメリットについてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な時制を用いて、日本語の俳句について説明する文章を書く。 ・ 「マンガとアニメは日本文化を理解するのに役立つ」という論題について、自分の考えを述べる。	○	○	○	
				○	○	○	
		第2回考査					
2	7	Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan ・ 助動詞	・ 適切な助動詞を用いて、訪日予定の外国人観光客に勧める場所についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な助動詞を用いて、自分がこれまでに行った日本の旅行先について伝える文章を書く。	○	○	○	
				○	○	○	
	8		・ 「ひとり旅のよさ」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○	
2	9	Lesson 3 Precious water for all ・ 受動態の基本形 ・ 受動態のさまざまな形	・ 受動態の基本形、完了形の受動態、助動詞のある受動態などの用法と意味を理解する。 ・ 受動態を用いて、昼食のバーチャル・ウォーター量についてクラスメートと伝え合	○		○	
				○	○	○	

		い、その内容について発表する。 ・ 節水のための取り組みについてのスピーチ原稿を書く。 ・ 「水は無料ですべての人に提供されるべきだ」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
	第3回考査				
10	Lesson 4 What has happened recently? ・ 不定詞 ・ 動名詞	・ 不定詞と動名詞の用法と意味を理解する。 ・ 適切な不定詞・動名詞を用いて、自分の好きなニュースやそのニュースを得る方法についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な不定詞・動名詞を用いて、自分が覚えている最近のニュースについて説明するレポートを書く。 ・ 「高校生は世界で起きていることを知るために、新聞を読むべきだ」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
	Lesson 5 I'm into music and movies! ・ 分詞の前置修飾と後置修飾 ・ 分詞構文 ・ watch + 0 + doing	・ 分詞の前置修飾と後置修飾の用法と意味を理解する。 ・ 分詞構文とwatch+0+doingの用法と意味を理解する。 ・ 適切な分詞を用いて、自分のお気に入りの映画についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 分詞構文を用いて、自分のお気に入りの歌手などについて紹介する文章を書く。 ・ 「映画は、映画館より家で見るほうがよい」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
	Lesson 6 Where do you usually buy clothes? ・ 関係代名詞 ・ 関係副詞 ・ 複合関係副詞	・ 関係代名詞・関係副詞の用法と意味を理解する。 ・ 関係代名詞の非制限用法・複合関係副詞の用法と意味を理解する。 ・ 適切な関係詞を用いて、自分がほしい服などについてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な関係詞を用いて、自分がよく服を買う店についての文章を書く。 ・ 「将来、より多くの人がオンラインで服を買う」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
11	第4回考査				
12	Lesson 7 What kind of books do you like best? ・ 比較表現	・ さまざまな比較表現の用法と意味を理解する。 ・ 適切な比較表現を用いて、自分が好きな本のジャンルや最も印象に残っている本についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な比較表現を用いて、紙の本と電子書籍のどちらが好きかについての自分の意見を書く。 ・ 「勉強をするためのベストな場所はどこか」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
	2学期の振り返り				

3	1	Lesson 8 Inventions that changed the way we live ・ 仮定法過去 ・ 仮定法過去完了 ・ I wish + S' + 過去形 ・ 仮定法の慣用表現	・ 仮定法過去、仮定法過去完了、I wish + S' + 過去形、仮定法の慣用表現の用法と意味を理解する。 ・ 適切な仮定法の表現を用いて。生活を大きく変えた発明についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 適切な仮定法の表現を用いて。スマートフォンによる生活の変化について説明する文章を書く。 ・ 「もしスマートフォンである家庭用品を使えるとしたら、その家庭用品は何か」という論題について自分の考えを述べる。	○		○	
	2	Part 2 Lesson 1 Can you come to our party? ・ 「感謝」「謝罪」の表現	「感謝」「謝罪」の表現の用法と意味を理解する。 ・ 「感謝」の表現を用いて、お祝いの言葉に対する感謝の言葉を述べ、パーティーに誘う会話のロールプレイをする。 ・ 「謝罪」の表現を用いて、誘われた誕生日パーティーに急きょ行けなくなった旨を謝罪するメール文を書く。 ・ 「できるだけ多くの友だちを持とうとするべきだ」という論題について自分の考えを述べる。	○		○	
		第5回考査		○		○	
	3	1年間の振り返りと総復習	・ 問題演習	○		○	

1 この科目の構成について

教科	英語	科目	論理・表現Ⅱ		単位	1	単位
対象コース	総合・美術	コース	対象クラス	2 年	4～9 組		
使用教科書	EARTHRISE English Logic and Expression I, II Standard						
使用副教材	EARTHRISE 活用ノート, チャート式 EARTHRISE						

2 この科目の目標・学習内容・学習方法について

学習目標：この科目を学習して何を身につけてほしいのか

日常的な話題，社会的な話題について，話すこと〔やりとり〕，話すこと〔発表〕，書くことの3つの領域の能力を段階的に伸ばす。また，論理の構成や展開を工夫して，主体的・自律的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

学習内容：この科目で学習する大まかな内容

話すこと〔やりとり〕，話すこと〔発表〕：聞いたり読んだりしたことを基に，基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。
書くこと：聞き取った内容を分析して，論理の展開や構成に工夫して自分で書いて伝え合うことができるようにする。

学習方法：この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

さまざまな表現方法を身につけ，練習問題で定着させる。また，与えられた主題について論理的に話すことや，論理の展開や構成を工夫して文章を書けるようにする。

(2) 家庭

学んだことを実際に英作文で書いてみる。また，授業時に書いた英作文の意見と違う立場で再び作文することにより，表現の幅を広げる。

3 この科目の評価方法について

評価の観点：何を使って評価するのか

(1) 知識・技能

- ・各Lessonで学ぶ文法項目を理解している。
- ・各Lessonの構文を用いてそのLessonのテーマについてクラスメートと伝え合い，その内容について発表する技能

を身につけている。

- ・各Lessonのテーマについて伝える文章を書いたりする技能を身につけている。
- ・与えられた論題について，必要な背景知識・語彙・表現を用いて，自分の考えを述べる技能を身につけている。

(2) 思考・判断・表現

- ・各Lessonのテーマについてクラスメートに質問したり伝えたり，相手からの質問に答えたりしている。また，情

報や自分の考えを整理し，聞き手に伝わるように論理的に話して発表している。

- ・読み手によく理解してもらえるように，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝え

ている。

- ・与えられた論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，相手の質問に答えたりしている。

(3) 主体的に学習に取り組む態度

- ・各Lessonのテーマについてクラスメートに伝えたり，相手からの質問に答えたりしようとしている。また，その

内容について整理し，聞き手に伝わるように論理的に話して発表しようとしている。

- ・読み手によく理解してもらえるように，情報や自分の考えなどを，論理の構成や展開を工夫して書いて伝え

よう

- ・与えられた論題について，自分の考えを理由とともに伝えたり，相手の質問に答えたりしようとしている。

4 この科目の学習計画について

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				評価の観点			CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	知	思	主	○△×
1	4	Lesson 9 Are you eco-friendly? ・ doing (動名詞)	・ doing (動名詞) の意味と用法を理解する。 ・ doing (動名詞) を用いて、環境保護のためにできることについてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 環境保護に関するスピーチ原稿を書く。	○	○	○	
	5		・ 「エコバッグを持ち歩く」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○	○	○	
	6	Lesson 10 What sport do you like? ・ 分詞の限定用法と叙述用法	・ 分詞の限定用法と叙述用法の意味と用法を理解する。 ・ 分詞を用いて、スポーツイベントについてクラスメートとインタビューする。 ・ 自分が最近したスポーツについてのブログを書く。	○	○	○	
		第2回考査	・ 「日本人選手が海外チームでプレイする」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○	○	○	
	7	Lesson 11 That's new to me! ・ 知覚動詞、使役動詞 ・ 分詞構文	・ see+0+doingやhave+0+done 及び分詞構文の意味と用法を理解する。 ・ 知覚動詞や使役動詞を用いて、諸外国の労働時間や祝日の数についてクラスメートと話し合い、その内容について発表する。	○	○	○	
	8		・ 分詞構文を用いて、野菜やくだものについてのパラグラフを書く。	○	○	○	
	9		・ 「健康維持とストレス軽減のための方法」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○	○	○	
2		Lesson 12 Which Nobel Prize winner do you admire most? ・ 関係代名詞	・ 関係代名詞who, which, thatの意味と用法及び制限用法と非制限用法を理解する。 ・ 関係代名詞を用いて、日本人のノーベル賞受賞者について、クラスメートとやりとりをし、その内容について発表する。	○	○	○	
	10		・ 関係代名詞の非制限用法を用いて、自分の尊敬する人についてのパラグラフを書く。 ・ 「AIは社会にとって有益だ」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○	○	○	
	11	Lesson 13 I'm interested in history ・ 関係副詞	・ 関係副詞when, howの意味と用法及び関係副詞の制限用法と非制限用法を理解する。 ・ 関係副詞を用いて、歴史上の偉人について、クラスメートとやりとりをし、その内容について発表する。	○	○	○	
		第4回考査	・ 関係副詞の非制限用法を用いて、日本の歴史的建造物について紹介するパラグラフを書く。 ・ 「世界遺産に選ばれることはその場所にとってよいことだ」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○	○	○	

3	12	Lesson 14 Various countries around the world ・ 比較表現	・ さまざまな比較表現の意味と用法を理解する。 ・ 比較表現を用いて、自分が行きたい国などについて、クラスメートとやりとりをし、その内容を発表する。 ・ 比較表現を用いて、2つの都市の気候の違いについて説明するレポートを書く。 ・ 「日本の高校生は海外修学旅行を企画すべきだ」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○	○	○
	1			○	○	○
	1	Lesson 15 What job are you interested in? ・ 仮定法過去 ・ 仮定法過去完了	・ 仮定法過去と仮定法過去完了の意味と用法を理解する。 ・ 仮定法過去を用いて、自分が興味ある職業についてクラスメートとやりとりをし、その内容について発表する。 ・ 仮定法過去完了を用いて、26歳の自分自身を想像して説明する文章を書く。 ・ 「より多くの日本人が将来海外で働く」という論題について自分の考えを述べる技能を身につける。	○	○	○
	2			○	○	○
		EARTHRISE II Part 1 Lesson 1 How interesting Japanese culture is! ・ 時制	・ 適切な時制を用いて、制服着用の経験、制服のメリット・デメリットについてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 日本語の俳句について説明する文章を書く。 ・ 「マンガとアニメは日本文化を理解するのに役立つ」という論題について、自分の考えを述べる。	○	○	○
	3			○	○	○
		Lesson 2 Wonderful places to visit in Japan ・ 助動詞	・ 適切な助動詞を用いて、訪日予定の外国人観光客に勧める場所についてクラスメートと伝え合い、その内容について発表する。 ・ 自分がこれまでに行った日本の旅行先について伝える文章を書く。 ・ 「ひとり旅のよさ」という論題について自分の考えを述べる。	○	○	○
				○	○	○